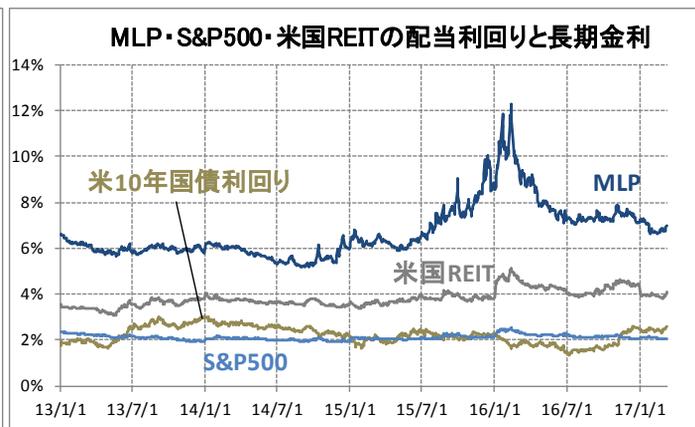




当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

≪先週の米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況≫

	アレリアンMLP指数			米国株(S&P500)		米国REIT		米10年国債利回り	WTI原油先物(ドル/バレル)	ヘンリーハブ天然ガス先物(ドル/百万BTU)
	価格指数	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り			
2016年12月30日	316.10	1,305.71	7.11%	4,278.66	2.08%	15,914.73	4.36%	2.44%	53.72	3.72
2017年3月3日	330.06	1,386.41	6.76%	4,571.60	2.05%	16,415.14	3.90%	2.48%	53.33	2.83
2017年3月10日	320.21	1,345.03	6.96%	4,553.28	2.06%	15,730.11	4.07%	2.57%	48.49	3.01
前週比	-3.0%	-3.0%	0.20%	-0.4%	0.01%	-4.2%	0.17%	0.10%	-9.1%	6.4%
年初来	1.3%	3.0%	-0.15%	6.4%	-0.02%	-1.2%	-0.29%	0.13%	-9.7%	-19.2%
前年比	24.8%	34.3%	-2.41%	21.8%	-0.26%	8.3%	-0.49%	0.64%	28.1%	68.2%



(出所)ブルームバーグ (注)データ期間:2013年1月1日~2017年3月10日、MLP=Alerian MLP Index、米国REIT=FTSE NAREIT All Equity REITs Index

≪アレリアンMLP指数構成銘柄の週間騰落率ランキング(3月6日~3月10日)≫

騰落率上位5銘柄		業種	時価総額(100万ドル)	週間騰落率(%)	騰落率下位5銘柄		業種	時価総額(100万ドル)	週間騰落率(%)
1	Rice Midstream Partners LP	集積・処理	2,601	2.1	Teekay LNG Partners LP	LNG海上輸送	1,491	-7.5	
2	Antero Midstream Partners LP	集積・処理	6,495	0.5	Summit Midstream Partners LP	集積・処理	1,655	-7.5	
3	Genesis Energy LP	石油輸送	3,990	-0.1	DCP Midstream LP	集積・処理	5,342	-6.2	
4	Dominion Midstream Partners LP	天然ガス輸送	3,111	-0.5	Energy Transfer Partners LP	天然ガス輸送	22,835	-5.9	
5	Martin Midstream Partners LP	石油貯蔵	715	-0.5	Sunoco Logistics Partners LP	石油輸送	8,030	-5.9	

(出所)ブルームバーグ (注)時価総額は2017年3月10日時点。

≪先週の米国MLP市場の動き≫

アレリアンMLP指数(トータル・リターン)は前週末比3.0%の下落となりました。先週はWTI原油先物価格が2016年12月7日以来となる1バレル=50ドル割れの水準へ下落したほか、米国株式市場全体も軟調な地合いとなりました。3月8日に公表された米国の原油在庫統計において、市場予想(前週比+128.8万バレル)を大きく上回る在庫増(前週比+820.9万バレル)が示され、原油の供給過剰への懸念が再び意識されたことが原油価格の下落に繋がりました。

一部報道では、原油価格回復を受けた米国のシェールオイル増産が原油在庫急増の主因との見方もありますが、実際の統計上は原油増産の影響は限られ、原油純輸入の増加や製油所の需要減少などが在庫増加に大きく寄与しました。

また、3月7日に公表された米エネルギー情報局(EIA)の短期エネルギー見通しでは、世界の石油需給は2017年第1四半期以降、均衡状態に転じるとの予想が示されました。今後、一時的な原油在庫増への懸念が一巡すれば、原油市場は需給均衡化を背景に落ち着きを取り戻すと期待されます。

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものでありますが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。



米国MLPマーケット・ウィークリー

《先週の米国MLP関連ニュース》

【3月7日、社債発行】 Crestwood Equity Partners LP(CEQP、集積・処理、時価総額18億ドル)は、総額5億ドルの社債発行(満期2025年、表面利率5.75%)を実施。

(出所)MLP公表資料、各種報道、ブルームバーグ、ファクトセット (注)各MLPの時価総額は2017年3月10日時点。

《MLP関連ピック》 米国の原油在庫増加の背景と世界の石油需給見通し

米原油在庫の増加を受けて原油価格が下落

先週のWTI原油先物価格は2016年12月7日以来となる1バレル=50ドル割れの水準へ下落しました。3月8日に公表された米国の原油在庫統計において、市場予想(前週比+128.8万バレル)を大きく上回る在庫増(前週比+820.9万バレル)が示されたことで、原油の供給過剰懸念が再び意識されたことが背景にあります。3月3日時点の米国の原油在庫(戦略備蓄除く)は過去最高を更新し、5億2,839万バレルとなりました(図1)。

米原油在庫増の主因は純輸入増加や需要減少

一部報道によれば、石油輸出国機構(OPEC)など主要産油国が協調減産を実施する一方、原油価格回復を受けた米国のシェールオイル増産が在庫急増の主因となっているとの見方もあります。

もっとも、3月3日の週の原油在庫フローの変動要因を見てみると、前週比日量+92.3万バレルの在庫増に対して国内生産の増加による寄与はわずか同+5.6万バレルと限定的に留まり、原油の純輸入増加(同+38.5万バレル)や製油所の需要減少(同+17.2万バレル)などが在庫増の主要因となりました(図2)。特に毎年2~3月は季節的に製油所の原油受入量が低迷する傾向にあり、今後は夏場のドライブ・シーズンに向けてガソリン需要が回復に向かうかが注目されそうです。

米EIAは世界の石油需給の均衡化を予想

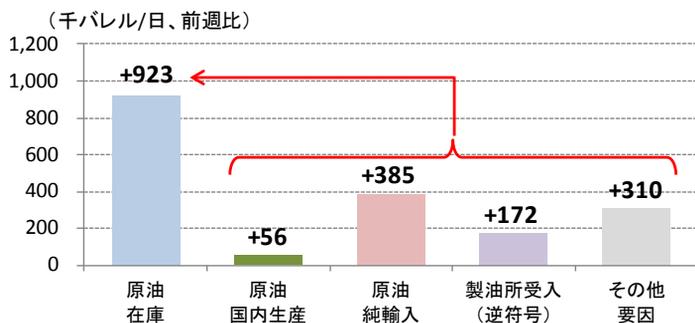
また、3月7日に公表された米エネルギー情報局(EIA)の短期エネルギー見通しでは、世界の石油需給は2017年第1四半期以降、均衡状態に転じるとの予想が示されています(図3)。米国の原油増産ペースは依然として緩やかであり、今後、一時的な原油在庫増への懸念が一巡すれば、原油市場は需給均衡化を背景に落ち着きを取り戻すと期待されます。

図1: 米国の原油生産量と原油在庫



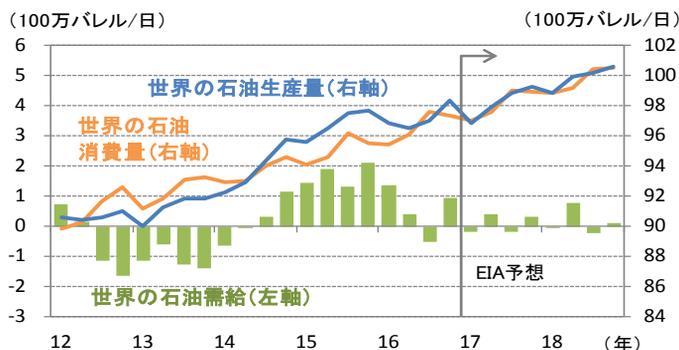
(出所)米エネルギー情報局(EIA)
(期間)2011年1月7日~2017年3月3日(週次)

図2: 3月3日の週の米原油在庫フローの変動要因



(出所)米EIA (注)週間フローの前週比増減。

図3: 世界の原油需給見通し(2017年3月7日時点)



(出所)米EIA (期間)2012年1Q~2018年4Q

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものでありますが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。